

令和元（平成31）年度

— 第六次青梅市男女平等推進計画 —

進ちよく状況報告書

青梅市

## はじめに

青梅市では、計画的に男女平等参画施策を推進するため、平成30年3月に、社会経済情勢の変化を踏まえ、第五次推進計画の取組を継承・発展させた平成30年度を初年度とする「第六次青梅市男女平等推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

この報告書は、「第六次青梅市男女平等推進計画」の進ちよく状況について年次報告書として作成したものです。

性別や年齢にかかわらず、その個性と能力が発揮できる機会が確保され、人々が満足感・安心感を得て生きがいのある充実した生活ができる男女平等参画社会の実現に向けて、計画の総合的かつ横断的な推進を図っていきます。

令和2年10月

## 目 次

### 第1章

I 計画の概要	-----	2
II 計画の体系	-----	6
III 事業計画一覧	-----	8

### 第2章

計画の進ちよく状況調査報告書	-----	11
I 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり	-----	13
1 配偶者等からの暴力の防止（重点課題）	-----	13
2 社会的弱者に対する暴力の防止	-----	15
3 男女平等参画を推進する教育・学習の充実	-----	16
4 国際理解の促進	-----	19
5 男女平等参画の啓発	-----	20
II 社会のあらゆる分野における男女平等参画の推進	-----	21
1 行政・防災分野における男女平等参画の推進（重点課題）	-----	21
2 地域・家庭における男女平等参画の推進	-----	22
3 生涯を通じた男女の心と体の健康支援	-----	24
4 外国人への支援	-----	28
5 生活の安定と自立の支援	-----	29
III 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランスの推進	---	32
1 ワーク・ライフ・バランスの推進（重点課題）	-----	32
2 働く場における男女平等参画の推進	-----	33
3 女性の就業支援	-----	34
4 子育て・介護への支援	-----	36
IV 総合的な計画の推進	-----	40
1 推進体制の強化・充実（重点課題）	-----	40

### 第3章

政策決定過程への女性の参画状況	-----	42
-----------------	-------	----



## 第 1 章

I 計画の概要

II 計画の体系

III 事業計画一覧

---

## I 計画の概要

### 男女平等参画社会の実現をめざす青梅市男女平等推進計画

#### 1 基本理念

“男女が互いにその権利を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力が発揮できる男女平等参画社会の実現”に向け、

- (1) 性別により差別されない一人ひとりの人権が尊重される社会
- (2) 男性と女性があらゆる分野に対等な立場で参画し、ともに責任を担う社会
- (3) 多様な生き方を自らの意思で選択・決定し、その能力を十分に発揮できる社会を目指します。

#### 2 計画の性格

- (1) この計画は、「男女共同参画社会基本法」第14条第3項にもとづく「市町村男女共同参画計画」です。
- (2) この計画は、男女平等参画社会の実現を目指す本市の基本方針を示し、施策を、総合的かつ計画的に推進するための事業計画です。
- (3) この計画は、第一次から第五次までの推進計画による本市の取組を継承・発展させる計画で、「第6次青梅市総合長期計画」の個別計画に位置付けられています。
- (4) この計画の目標Ⅰの課題1「配偶者からの暴力の防止」は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（配偶者暴力防止法）」第2条第3項にもとづく「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画（市町村基本計画）」とします。
- (5) この計画の目標Ⅲの課題1「ワーク・ライフ・バランスの推進」、課題2「働く場における男女平等参画の推進」および課題3「女性の就業支援」は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」第6条第2項にもとづく「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画（市町村推進計画）」とします。

#### 3 計画の期間

平成30(2018)年度から令和4(2022)年度までの5年間

#### 4 事業計画

次の4つの目標を設定し、施策を総合的かつ計画的に推進します。

**目標Ⅰ 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり**

**目標Ⅱ 社会のあらゆる分野における男女平等参画の推進**

**目標Ⅲ 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランスの推進**

**目標Ⅳ 総合的な計画の推進**

## 目標Ⅰ 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり

男性も女性も一人ひとりが性別にとらわれず、それぞれが一人の人間として認められ、個性と能力が社会の中で十分に発揮できる男女平等参画社会を実現させるためには、人権の尊重は基礎となるものです。

しかし、性別を理由とする差別的取り扱いや、配偶者等からの暴力などの人権侵害は、社会の様々なところで起こっています。男女平等参画社会の実現のために、固定的な性別役割分業意識を解消していくほか、配偶者等からの暴力を防止していきます。

国際社会の中で、誰もがともに生きるまちづくりを進めるためには、異なる文化、習慣、価値観などをお互いに理解し認め合うことが重要です。

また、男女平等参画社会の実現に向けて、さまざまな機会・媒体を利用し、広く意識啓発・情報発信に取り組む必要があります。

## 目標Ⅱ 社会のあらゆる分野における男女平等参画の推進

男性と女性が意思決定の段階からあらゆる活動にともに参画することは、男女平等参画社会の形成には不可欠です。

社会の様々な意思決定、家庭や地域社会において、どちらか一方に偏ることなく、男女それぞれの意見が反映されることが必要です。

性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、責任も分かち合えるよう社会のあらゆる分野において、男女平等参画を推進していきます。

また、お互いの特質を理解しあい、人権を尊重しつつ、思いやりを持つことは男女平等参画社会の前提です。特に女性は妊娠・出産を経験するなど、生涯にわたる健康問題について、十分なケアが必要です。

超高齢社会において、すべての人が、いきいきと生活し、安心して暮らすことができるよう、男女の生涯を通じた健康支援、外国人への支援や社会の変化により生まれた、多様な環境・形態で生活を営む家庭への支援を行います。

## 目標Ⅲ 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)の推進

これまで、男女が働きながら子育てができる環境整備が図られてきましたが、女性の多くは継続就業が困難であり、男性の多くは仕事優先による長時間労働の現実



があります。

一方、人々の価値観やそれに伴うライフスタイルも多様化し、男女を問わず仕事と生活をバランスよく充実させたいという人々が増えています。

時代の変化に対応し、多様な生き方を受け入れる豊かな社会を築くため、男女がともに子育てに参加でき、仕事と家庭生活の調和を実現できる環境をつくるワーク・ライフ・バランスの推進が必要です。

働きやすい職場環境は、男女ともに必要なものであり、少子・高齢化社会へ適切に対応するため、女性の就業。キャリア形成に対する支援、子育て支援や家庭での介護の支援などを充実します。

#### 目標Ⅳ 総合的な計画の推進

男女平等参画社会の実現には、総合的かつ計画的な施策の推進が不可欠です。

本市では、「青梅市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例」をはじめ職員の服務等に関して、これまでも条例や規則を制定する中で男女平等参画の推進のため、条件整備を行うとともに、職員研修等において、ワーク・ライフ・バランスに向けた取組、意識啓発を実施してきました。

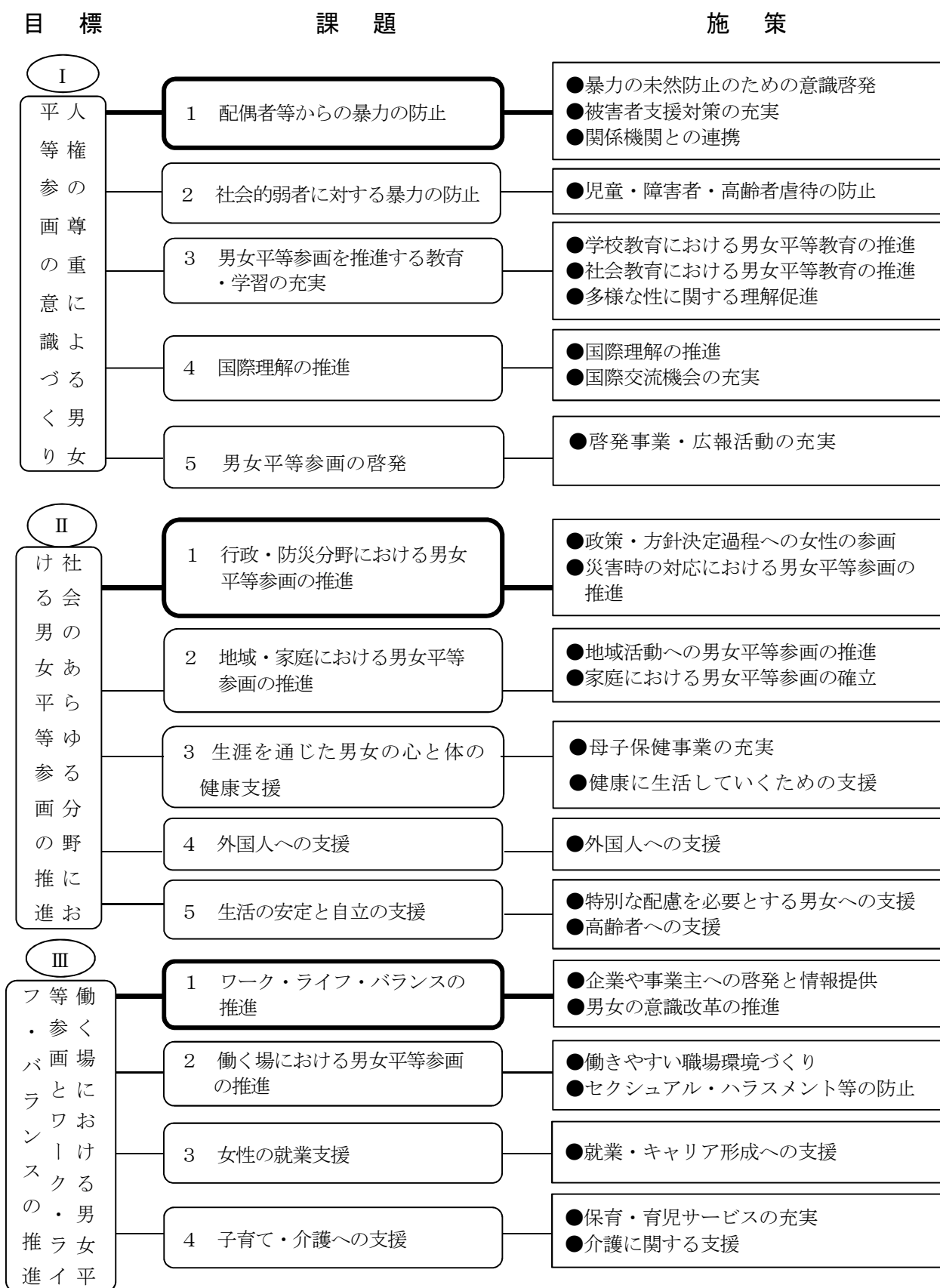
今後も、本計画の基本理念を踏まえ、職員の理解を深めて、全庁的な取組として本計画を推進していきます。

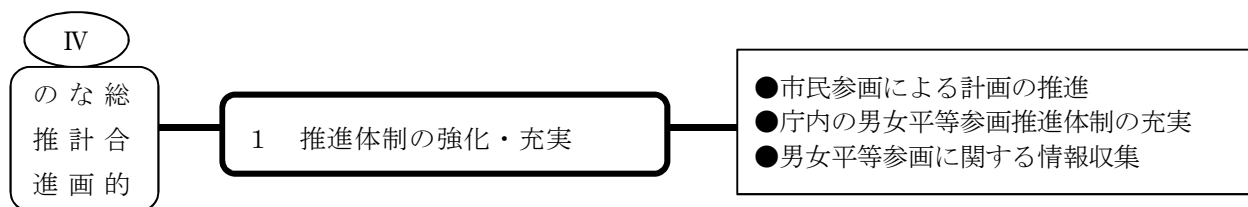
また、計画の推進に当たっては、国や東京都、他市町村と連携しながら、情報収集に努めつつ、市民との連携、協働により事業の実施に取り組みます。

### 5 課題、施策、取組項目の数

目 標	課題数	施策数	取組項目数
I 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり	5	10	25
II 社会のあらゆる分野における男女平等参画の推進	5	9	29
III 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	4	7	22
IV 総合的な計画の推進	1	3	7
計	15	29	83

## II 計画の体系





※各目標の1番目の課題（太枠の課題）を重点課題として取り組んでいきます。

### Ⅲ 事業計画一覧

No.	事業項目	所管課	頁
<b>I 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり</b>			13
<b>1 配偶者等からの暴力の防止（重点課題）</b>			13
(1) 暴力の未然防止のための意識啓発			13
1	暴力を防ぐための意識啓発	市民活動推進課 社会教育課	
2	人権尊重の意識啓発	市民安全課	
(2) 被害者支援対策の充実			13
3	DV相談体制の整備	子ども家庭支援課 高齢者支援課	
4	DV被害者の自立支援体制の充実	子ども家庭支援課	14
5	DV被害者の保護体制の整備	子ども家庭支援課	
6	庁内連携体制の強化 (配偶者暴力相談支援センター機能の整備に関する検討)	子ども家庭支援課 市民活動推進課 関係各課	
(3) 関係機関との連携			14
7	外部関係機関との連携	市民安全課	
<b>2 社会的弱者に対する暴力の防止</b>			15
(1) 児童・障害者・高齢者虐待の防止			15
8	虐待を防ぐための意識啓発	子ども家庭支援課 障がい者福祉課 高齢者支援課	
9	虐待防止にかかる連携体制の整備	子ども家庭支援課 障がい者福祉課 高齢者支援課	
<b>3 男女平等参画を推進する教育・学習の充実</b>			16
(1) 学校教育における男女平等教育の推進			16
10	男女平等教育推進のための啓発	指導室	
11	進路指導の充実	指導室	
12	指導資料等の整備	指導室	
13	教職員研修の開催	指導室	
(2) 社会教育における男女平等教育の推進			17
14	男女平等参画に関する講座等の開催	社会教育課 市民活動推進課	
15	学習情報の提供	市民活動推進課 社会教育課	
16	女性グループ交流事業の支援	市民安全課	
(3) 多様な性に関する理解促進			17
17	性の商品化の防止のための意識啓発	子ども家庭支援課 市民安全課	
18	エイズ対策普及啓発	市民安全課	
19	活字等における適切な表現の推進と性表現の配慮	関係各課	18
20	多様な性への啓発	市民活動推進課	
<b>4 国際理解の推進</b>			19
(1) 国際理解の推進			19
21	学習講座の開催	社会教育課	
(2) 国際交流機会の充実			19
22	姉妹都市交流事業	秘書広報課	
23	国際交流団体への支援	秘書広報課	
<b>5 男女平等参画の啓発</b>			20
(1) 啓発事業・広報活動の充実			20
24	事業・講座の実施時間等の見直し	市民活動推進課 関係各課	
25	男女平等参画に関する事業等の周知	市民活動推進課	

No.	事業項目	所管課	頁
<b>II 社会のあらゆる分野における男女平等参画の推進</b>			21
<b>1 行政・防災分野における男女平等参画の推進（重点課題）</b>			21
(1) 政策・方針決定過程への女性の参画			
26	審議会等委員の女性委員の参画促進	市民活動推進課 文書法制課 関係各課	
27	市政への市民意見の反映	企画政策課 市民安全課 関係各課	
(2) 災害時の対応における男女平等参画の推進			21
28	地域防災計画への女性の意見の反映	防災課	
29	避難所運営等での男女平等参画の促進	防災課 市民活動推進課	
<b>2 地域・家庭における男女平等参画の推進</b>			22
(1) 地域活動への男女平等参画の推進			22
30	啓発活動の促進	市民活動推進課 (本庁舎・市民センター)	
31	青梅市ボランティア・市民活動センターの活動の促進	市民活動推進課	
32	NPO・ボランティア活動の活性化および協働の推進	市民活動推進課	
33	女性リーダーの育成	市民活動推進課 社会教育課	
(2) 家庭における男女平等参画の確立			23
34	男女平等参画による家事・育児・介護などの促進	関係各課 健康課 子ども家庭支援課	
35	家庭生活への男性の参画支援	市民活動推進課	
<b>3 生涯を通じた男女の心と体の健康支援</b>			24
(1) 母子保健事業の充実			24
36	母子保健に関する指導・助言	健康課	
37	各種健康診査と育児支援	健康課	
(2) 健康に生活していくための支援			25
38	健康管理意識の高揚	健康課 高齢者支援課	
39	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ推進課	
40	スポーツ指導者の育成	スポーツ推進課	
41	スポーツに親しめる環境づくり	スポーツ推進課	
<b>4 外国人への支援</b>			28
(1) 外国人への支援			28
42	外国人居住者への日常生活の情報提供	関係各課	
43	国際交流ボランティア活動の促進	秘書広報課	
<b>5 生活の安定と自立の支援</b>			29
(1) 特別な配慮を必要とする男女への支援			29
44	ホームヘルプサービスの実施	子ども家庭支援課 障がい者福祉課	
45	ひとり親家庭等に対する各種貸付・就業支援	子ども家庭支援課	
46	ひとり親家庭等医療費助成	子育て推進課	
47	ひとり親家庭等に対する手当の支給	子育て推進課	
48	障害者等の生活支援	障がい者福祉課	
49	障害者等の障害福祉サービス	障がい者福祉課	
(2) 高齢者への支援			30
50	高齢者の生活支援	高齢者支援課	
51	高齢者の生きがいづくり	高齢者支援課	
52	高齢者の社会参加と能力活用	高齢者支援課	
53	介護保険制度に関する周知	介護保険課	
54	高齢者の総合相談の実施	高齢者支援課	

No.	事業項目	所管課	頁
<b>Ⅲ 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランスの推進</b>			<b>32</b>
<b>1 ワーク・ライフ・バランスの推進（重点課題）</b>			<b>32</b>
	(1) 企業や事業主への啓発と情報提供		32
55	企業等へのワーク・ライフ・バランスの啓発	商工観光課 市民活動推進課	
	(2) 男女の意識改革の推進		32
56	働く人に対するワーク・ライフ・バランスの啓発	商工観光課 市民活動推進課	
<b>2 働く場における男女平等参画の推進</b>			<b>33</b>
	(1) 働きやすい職場環境づくり		33
57	労働相談の開催	商工観光課	
58	講座等の開催	商工観光課	
59	商工・自営業等の労働者への支援	商工観光課	
	(2) セクシュアル・ハラスメント等の防止		33
60	各種ハラスメントの防止に向けた啓発	市民安全課 商工観光課 市民活動推進課	
<b>3 女性の就業支援</b>			<b>34</b>
	(1) 就業・キャリア形成の支援		34
61	能力開発および就業意識向上のための講座の開催および情報提供	商工観光課 市民活動推進課	
62	農業等に従事する女性の支援	農林水産課	
63	再就職支援のための講座の開催および情報提供	商工観光課 市民活動推進課	
64	再就職支援のための母子・父子家庭自立支援プログラムの策定	子ども家庭支援課	
65	ハローワークとの共催講座の開催	商工観光課 市民活動推進課 子ども家庭支援課	
66	女性活躍の啓発および取組の推進	市民活動推進課	
<b>4 子育て・介護への支援</b>			<b>36</b>
	(1) 保育・育児サービスの充実		36
67	民間保育所の保育内容の充実	子育て推進課	
68	学童保育事業の充実	子育て推進課	
69	子育て支援事業・子育てひろば事業の充実	子ども家庭支援課	
70	子育て相談の開催	健康課 子ども家庭支援課	
71	乳幼児ショートステイ事業	子ども家庭支援課	
72	私立幼稚園等保護者に対する補助金の交付	子育て推進課	
73	子育て支援制度の情報提供	子ども家庭支援課	
	(2) 介護に関する支援		39
74	介護保険制度の周知	介護保険課	
75	介護保険制度の活用促進	介護保険課	
76	介護に関する相談	高齢者支援課 障がい者福祉課	
<b>Ⅳ 総合的な計画の推進</b>			<b>40</b>
<b>1 推進体制の強化・充実（重点課題）</b>			<b>40</b>
	(1) 市民参画による計画の推進		40
77	市民との連携	市民活動推進課	
78	進ちよく状況報告書の作成	市民活動推進課	
	(2) 庁内の男女平等参画推進体制の充実		40
79	庁内推進体制の整備	市民活動推進課	
80	市職員に対する男女平等参画の啓発	市民活動推進課 職員課	
	(3) 男女平等参画に関する情報収集		41
81	国・都・他市町村との連携	関係各課	
82	関係図書・資料の収集	社会教育課 関係各課	
83	男女平等参画に関する市民の意識・実態調査	市民活動推進課	

## 第2章

### 計画の進ちよく状況調査報告書

---

## 計画の進ちよく状況調査報告書

調査内容 事業内容と進ちよく状況

- 1 令和元年度事業実績および対前年進ちよく度  
対前年進ちよく度の評価基準  
A…充実・強化した  
事業を新たに実施した場合または着実に前進しているもの（事業実績に現れない創意工夫を行った場合を含む。）  
B…前年度と同様  
平成30年度と同様の事業内容であった場合  
C…縮小した  
平成30年度と比較して事業内容を縮小または廃止した場合  
D…全く進んでいない  
該当事業に着手しなかった場合（事業着手のための検討や準備を行った場合はBを選択）
- 2 対前年進ちよく度評価理由
- 3 今後の方向  
新規…計画期間内に新たに実施予定の事業  
継続…すでに実施されている事業で、今後も継続する事業  
拡充…すでに実施されている事業で、今後充実する事業  
縮小…すでに実施されている事業で、今後縮小する事業  
廃止…計画期間内に廃止検討予定の事業
- 4 令和2年度事業予定
- 5 青梅市男女平等推進計画懇談会評価  
懇談会による課題ごとの事業の進ちよく状況についての評価と評価理由  
評価基準  
◎…順調である  
効果的な取組ができている場合  
○…概ね順調である  
全体的に推進が図られている場合  
△…課題がある  
ある程度の成果は認められるが一部課題がある場合  
×…不十分である  
事業に取り組めていない、成果がない場合



目標 I 人権の尊重による男女平等参画の意識づくり

課題 1 配偶者等からの暴力の防止（重点課題）

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
暴力の未然防止のための意識啓発	1	暴力を防ぐための意識啓発	DV等暴力が重大な人権侵害であることや、発見時の通報、相談窓口等を周知します。また、啓発対象の低年齢化に向けた検討を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発カードの作成をした。</li> <li>中学生・高校生等を対象にしたデートDV啓発講座計画(中止)</li> <li>DVのDVDを視聴覚ライブラリーに配置</li> </ul>	B 啓発カードについては市内のJR3駅に配架依頼した。デートDV啓発講座について(中学生対象4回)を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止となった。高校生対象は日程調整できなかった。 B DVのDVDを視聴覚ライブラリーに配置し、HPのDVDリストにも掲載しているが貸し出しはなかった。	継続 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発カードの作成・配布</li> <li>中学生・高校生等を対象にしたデートDV啓発講座の開催</li> <li>DV啓発パンフレットの作成・配布</li> <li>DVのDVDを視聴覚ライブラリーに配置</li> </ul>	市民活動推進課 社会教育課	
	取組番号	取組項目	取組の方向				
	2	人権尊重の意識啓発	人権尊重に関する意識啓発を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>人権・身の上相談を実施(定例・特設相談)</li> <li>「人権の花運動」を実施</li> <li>人権教室を実施</li> <li>子どもからの人権メッセージ(小学生)活動を実施</li> <li>中学生人権作文コンテストを実施</li> <li>パネル展示をした。 市民のくらし展 市役所玄関ホール</li> <li>啓発ポスターを掲示</li> <li>パンフレットを配布</li> </ul>	B 人権・身の上相談を実施(定例・特設相談)した。「人権の花運動」を実施した。人権教室を実施した。子どもからの人権メッセージ(小学生)活動を実施した。中学生人権作文コンテストを実施した。パネル展示をした。市民のくらし展市役所玄関ホールで実施啓発ポスターを掲示した。パンフレット配布を実施	継続 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権・身の上相談の実施(定例・特設相談)(休止中)</li> <li>「人権の花運動」の実施</li> <li>人権教室の実施(中止)</li> <li>子どもからの人権メッセージ(小学生)活動の実施(中止)</li> <li>中学生人権作文コンテストの実施(中止)</li> <li>パネル展示 市民のくらし展(中止) 市役所玄関ホール</li> <li>啓発ポスターの掲示</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>	市民安全課	
	施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
	被害者支援対策の充実	3	DV相談体制の整備	被害者からの相談に応じ、自身の安全と生活の安定に向けた助言・援助を行います。			
			令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
<ul style="list-style-type: none"> <li>婦人相談員による、被害者からの相談対応、助言、支援の実施 相談件数：577件 うち夫等の暴力に関する相談件数：57件</li> <li>地域包括支援センターにおける相談対応をした。</li> </ul>			B 婦人相談員2名で相談業務を実施しており、相談件数は前年度に比べ16件増加し、暴力に関する相談件数は前年度と比べ1件減少した。被害者自身の安全と安定に向け助言・支援を実施した。 B 前年度同様、事業目的に沿った事業を実施した。	継続 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>婦人相談員による、被害者からの相談対応、助言、支援の実施</li> <li>地域包括支援センターにおける相談対応</li> </ul>	子ども家庭支援課 高齢者支援課	
取組番号		取組項目	取組の方向				
4		DV被害者の自立支援体制の充実	配偶者暴力被害者等に対し、より円滑な支援ができる体制を目指します。DVおよびストーカー等の被害者の自立に向けた支援を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>母子自立支援員・婦人相談員による支援や関係機関との連携による支援を実施</li> <li>DVおよびストーカー等の被害者の自立に向けた支援を実施</li> </ul>	B 前年度と同様の体制で事業を実施した。青梅警察署、女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子自立支援員・婦人相談員による支援や関係機関との連携による支援の実施</li> <li>DVおよびストーカー等の被害者の自立に向けた支援の実施</li> </ul>	子ども家庭支援課	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
被害者支援対策の充実	5	DV被害者の保護体制の整備	庁内・関係機関等との連携を図り、DV被害者の安全の確保に向けた体制の整備と支援を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・庁内・関係機関等との連携を図り、DV被害者の安全の確保に向けた体制の整備と支援を実施	B 必要に応じ、庁内関係課および青梅警察署や女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	継続	・庁内・関係機関等との連携を図り、DV被害者の安全の確保に向けた体制の整備と支援の実施	子ども家庭支援課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
と関係連携	6	庁内連携体制の強化 (配偶者暴力相談支援センター機能の整備に関する検討)	被害者の状況に応じ、関係各課の連携を強化し、共通認識のもと、二次被害の防止、被害者情報の保護に配慮し、支援を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・配偶者等暴力対策関係課連絡会の定例開催を予定したが、開催できなかった。	B 連絡会については、新型コロナウイルス感染対策のため、日程調整できず開催できなかった。	継続	・配偶者等暴力対策関係課連絡会の定例開催を予定	子ども家庭支援課 市民活動推進課
		・子ども家庭支援課・児童相談所・関係教育委員会と連携し、支援を行った。	B 関係各課の連携を密にし、支援を行った。	継続	・子ども家庭支援課・児童相談所・関係教育委員会と連携し、支援を図る。	関係各課 (学務課)
施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
と関係連携	7	外部関係機関との連携	関係機関と連携し、早期発見・支援・防止に努めます。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・犯罪被害者支援ネットワークを通じた、青梅警察署との連携に努めた。	B 犯罪被害者支援ネットワークを通じた、青梅警察署との連携に努めた。	継続	・犯罪被害者支援ネットワークを通じた、青梅警察署との連携	市民安全課
		・犯罪被害者支援の相談および啓発活動の実施をした。	犯罪被害者支援の相談および啓発活動の実施をした。		・犯罪被害者支援の相談および啓発活動の実施	

懇談会評価	○	配偶者等からの暴力の防止の取組については概ね実施できていると思われる。DV被害者の保護体制の整備は、関係機関との連携をより一層高め、継続されたい。新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業は、今後、オンラインによる事業展開なども検討されたい。
-------	---	---

課題2 社会的弱者に対する暴力の防止

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
児童・障害者・高齢者虐待の防止	8	虐待を防ぐための意識啓発	<p>人権を著しく侵害し、心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与える児童虐待の禁止、予防、早期発見に向け、意識啓発を図ります。</p> <p>障害者に対する身体的、心理的虐待などは重大な人権侵害であることの認識を深めるとともに、虐待防止に向けた意識啓発を図ります。</p> <p>高齢者に対する身体的、心理的虐待などは重大な人権侵害であることの認識を深めるとともに、虐待防止に向けた意識啓発を図ります。</p>				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動を実施	B	関係機関と連携し、児童虐待防止講演会を関係者および市民向けに実施した。	継続	・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動の実施	子ども家庭支援課
		・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動を実施	B	関係機関と連携し、虐待防止の講演会を実施した。	継続	・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動の実施	障がい者福祉課
	・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動を実施	B	前年度同様、事業目的に沿った事業を実施した。	継続	・関係機関との連携や虐待防止のための啓発活動の実施	高齢者支援課	
	取組番号	取組項目	取組の方向				
	9	虐待防止にかかる連携体制の整備	<p>児童に対する虐待防止に向け、関係機関との連携と相談体制を充実します。</p> <p>障害者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携と相談体制を充実します。</p> <p>高齢者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携と相談体制を充実します。</p>				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・要保護児童対策地域協議会代表者会議を2月に開催した。	A	前年同様各会議を開催し、関係機関の連携と情報共有を行った。	継続	・要保護児童対策地域協議会代表者会議を2月に開催	子ども家庭支援課
		・同協議会実務者会議を年4回開催した。				・同協議会実務者会議を年4回開催	
・個別ケース会議を随時開催した。	B	警察官OBを増員し、児童相談所からの送致に対応した。また正規職員の保健師を1名から2名に増員したことで、組織の強化を図り、相談体制を充実させた。	継続	・関係機関向けの「子どもの虐待防止対応・連携マニュアル」を改訂し体制の強化を図る。	障がい者福祉課		
・子ども家庭支援センターに、嘱託職員のワーカーに替えて正規職員の保健師の主任1名を配置するとともに、警察官OB1名を増員した。				・警視庁青梅警察署と「児童虐待の未然防止と早期発見に向けた情報共有等に関する協定」を締結した。			
・障害者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携および庁内関係課連絡会を実施した。	B	障害者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携および庁内関係課連絡会を実施した。	継続	・障害者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携および庁内関係課連絡会の実施	障がい者福祉課		
・高齢者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携し相談を実施した。	B	前年度同様、事業目的に沿った事業を実施した。	継続	・高齢者に対する虐待防止に向け、関係機関との連携と相談の実施	高齢者支援課		

懇談会評価	◎	社会的弱者に対する暴力の防止の取組については順調に実施できていると思われる。虐待を防ぐための人員の増員、連携体制整備が強化されており評価できる。今後も、講演会の開催なども含め取組の継続をされたい。
-------	---	--

課題3 男女平等参画を推進する教育・学習の充実

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
学校教育における男女平等教育の推進	10	男女平等教育推進のための啓発	校長会、副校長会および人権教育推進委員会（各校1名）を通して、人権としての男女平等教育の意義および推進について指導を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・人権教育研修会（四市一郡共催）において、啓発を図った。 ・校内における人権教育研修の開催を推進した。 ・人権教育推進委員会での授業実践の周知を図った。	B ・共催研修2回実施した ・各校で実施した。 ・研修を実施し、校内展開した。	継続	・人権教育研修会（四市一郡共催）において、啓発を図る。 ・校内における人権教育研修の開催を推進 ・人権教育推進委員会での授業実践の周知を図る。	指導室
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	11	進路指導の充実	性別にとらわれることなく、自分の個性を生かせるよう進路指導の充実を図ります。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・進路指導主任連絡協議会、人権教育研修会を通じた進路指導の充実を図った。	B 東京都の研修（1回）を受け、校内展開した。	継続	・進路指導主任連絡協議会、人権教育研修会を通じた進路指導の充実	指導室
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	12	指導資料等の整備	性教育の全体計画・年間指導計画の改善・充実を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・東京都教育委員会作成の人権教育プログラムの活用を図った。	B 東京都教育委員会作成の人権教育プログラムの活用し、計画を作成した。	継続	・東京都教育委員会作成の人権教育プログラムの活用を図る。	指導室
	取組番号	取組項目	取組の方向			
13	教職員研修の開催	人権尊重を基盤とした学校経営や学級・教科経営を推進し、男女平等教育などに関する研修を実施します。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	・人権教育推進委員会、道徳教育推進委員会における教職員の意識啓発を図った。	B 道徳教育推進委員会を4回開催した。	継続	・人権教育推進委員会、道徳教育推進委員会における教職員の意識啓発を図る。	指導室	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
社会教育における男女平等教育の推進	14	男女平等参画に関する講座等の開催	男女平等参画の視点に立った講座を実施します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・男女平等啓発講座の開催した。 ・家庭教育支援講座を計画したが、中止となった。	B B	連続講座を行ったが、新型コロナウイルス感染対策のため半分の日程となった。 前年度と同じく3回計画したが、3月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。	継続 継続	・男女平等啓発講座の開催 ・家庭教育支援講座の開催	社会教育課 市民活動推進課 社会教育課
	取組番号	取組項目	取組の方向				
	15	学習情報の提供	学習情報、各種団体の活動情報、視聴覚ライブラリー情報、市政に関する報告書や計画書等を提供します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・男女平等情報紙の発行とホームページへの掲載(年2回)を行った。 ・生涯学習だよりの発行とホームページへの掲載(年4回発行)をした。 ・生涯学習サークル情報の提供をした。 ・官公庁等の依頼に応え、パンフレットを配架およびポスター啓示を行い、啓発に努めた。	B B B	情報紙を年2回発行した。 前年度と同様に情報提供した。 前年度同様に官公庁等の依頼に応え、パンフレットを配架およびポスター啓示を行い、啓発に努めた。	継続 継続 継続	・男女平等情報紙の発行とホームページへの掲載(年2回) ・生涯学習だよりの発行とホームページへの掲載(年4回発行) ・生涯学習サークル情報の提供 ・官公庁等の依頼に応え、パンフレットを配架およびポスター啓示を行い、啓発に努める。	市民活動推進課 社会教育課 市民活動推進課
	取組番号	取組項目	取組の方向				
	16	女性グループ交流事業の支援	女性グループ間の情報交換、共同事業などを支援し、交流の促進を図ります。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	・消費者団体による「青梅市市民のくらし展」を開催した。	B	消費者団体による「青梅市市民のくらし展」の実施した。	継続	・消費者団体による「青梅市市民のくらし展」の開催(中止)	市民安全課	
施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
多様な性に関する理解促進	17	性の商品化の防止のための意識啓発	「東京都青少年の健全な育成に関する条例」等の周知や関係機関との連携により、性の商品化防止に向けた取組を行います。あわせて、女性の人権尊重の啓発を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・不健全図書類の販売自粛について、市内販売店に要請した。 ・女性の人権尊重について人権パネル展による啓発をした。	B B	前年と同様に実施し、意識啓発を図った。 女性の人権尊重について人権パネル展による啓発を実施した。	B 継続	・不健全図書類の販売自粛について、市内販売店に要請する。 ・女性の人権尊重について人権パネル展による啓発	子ども家庭支援課 市民安全課
	取組番号	取組項目	取組の方向				
	18	エイズ対策普及啓発	エイズ予防や感染者への偏見差別をなくす啓発活動に努めます。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課		
	・偏見差別をなくすため人権パネル展による啓発	B	偏見差別をなくすため人権パネル展による啓発を実施	継続	・偏見差別をなくすため人権パネル展による啓発	市民安全課	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
多様な性に関する理解促進	19	活字等における適切な表現の推進と性表現の配慮	広報紙、市の出版物等を作成する際に、男女平等参画の視点に立ち、適切な表現を推進するとともに、性的な差別につながる表現になっていないか配慮します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・広報や情報紙など市の発行する文書について、男女の区別等にかかる表現に対する配慮をした。	B	前年同様に、市の発行する文書について、男女の区別等にかかる表現に対する配慮をした。	継続	・広報や情報紙など市の発行する文書について、男女の区別等にかかる表現に対する配慮
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	20	多様な性への啓発	戸籍の性別と自分の思う性別が異なることや異性以外を好きになることなど多様化する性への理解・啓発に努めます。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
・リーフレットなどによる啓発を実施した。		B	性的マイノリティを含む、多様な性に対する理解を目的としたリーフレットを庁舎内および各市民センター等に配架、吹上中講演会で配付、くらし展での配架等啓発に努めた。	継続	・リーフレットなどによる啓発の実施	市民活動推進課

懇談会評価	○	男女平等参画を推進する教育・学習の充実の取組については概ね実施できていると思われる。不健全図書の販売自粛要請を今後も継続されたい。教育機関へも多様な性に関するリーフレットの周知をされたい。
-------	---	--

課題4 国際理解の推進

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
国際理解の促進	21	学習講座の開催	国際理解のための講座を理解します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解講座の実施 小学生 73人 中学生 25人 高校生 1人 (各18回) 台風19号と新型コロナウイルス感染症対策により2回実施できなかった。</li> <li>外国人日本語講座(全18回) 11人</li> </ul>	B 前年と同様に、国際理解講座および外国人日本語講座を継続的に実施した。国際理解講座公開講座では、「オリンピックについて」のテーマで講演会を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解講座の実施</li> <li>外国人日本語講座</li> </ul>	社会教育課
施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
国際交流機会の充実	22	姉妹都市交流事業	姉妹都市交流事業を充実し、互いの文化、習慣等の理解の場を提供します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校教員のアンドレアス・ニックを団長とするポッパルト市青少年友好親善使節団11人の受入を行った。使節団は、全員、市内の家庭にホームステイしながら、青梅総合高校の生徒との同世代交流、浴衣着付け・書道・うどん打ちなどの日本伝統文化の体験、御岳山の散策、浅草・富士山の観光、ドイツ大使館への訪問等を通じて交流を深めた。</li> </ul>	B <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は受入の年であり、過去にポッパルト市へ派遣した団員家庭の多くがホームステイ先となったため、より交流が深まった。</li> <li>姉妹都市交流は、「派遣」と「受入」を隔年(交互)で行っており、毎年新しいメニューを検討しながら実施している。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の観戦に合わせて、84人のポッパルト市民の方々が、青梅市を訪問される。青梅・ポッパルト友好協会とも協力し、姉妹都市との更なる友好を深める。 (東京2020大会が令和3年度に延期されたことから、令和2年度事業は中止とする。)</li> </ul>	秘書広報課
取組番号	取組項目	取組の方向				
	23	国際交流団体への支援	市内国際交流団体への支援を行うとともに、協働による事業の推進を図ります。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>青梅日独交流協会が実施するポッパルト市への派遣事業に対する補助のほか、外国語講座や国際交流の広場に対し、国際交流基金による補助金の交付を行った。</li> <li>北京市民招待選手団の青梅マラソン大会参加への支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、招待選手が不参加となったため、支援を行わなかった。</li> </ul>	B <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の国際交流意識の高揚ならびに国際交流の普及および推進を目的に、国際交流基金による補助を行った。</li> <li>市内国際交流団体と協働で実施することにより、円滑に事業を推進することができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、青梅マラソン大会に参加する北京市からの招待選手が不参加となった。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語講座、国際交流の広場および、ポッパルト友好協会と協力し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の観戦に併せて青梅市に訪問されるポッパルト市民との交流事業へ国際交流基金から補助金の交付を行う。 (東京2020大会が令和3年度に延期されたことから、ポッパルト市民との交流事業への補助金の交付は行わない。)</li> <li>ポッパルト市民招待選手団および北京市民招待選手団の青梅マラソン大会参加への支援を行う。</li> </ul>	秘書広報課

懇談会評価	○	国際理解の推進の取組については、概ね実施できていると思われる。今後も国際理解は大切であるため、継続されたい。外国人日本語講座の参加者募集については、さらなる周知を図り、外国人の方の支援に努められたい。
-------	---	--

課題5 男女平等参画の啓発

施策	取組番号	取組項目	取組の方向					
啓発事業・広報活動の充実	24	事業・講座の実施時間等の見直し	多くの市民が男女平等参画について学習できる機会の拡充のため、講座の内容や、実施時間の見直しを行います。					
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)		対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>講座等の開催日時の配慮 働く女性のスキルアップパソコン講座の開催</li> <li>講座内容・対象により託児の必要性を判断し、託児付きの講座の開催した。</li> </ul>	B	就業者向けの講座では、夜間に実施するなど配慮した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座等の開催日時の配慮</li> </ul>	市民活動推進課	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>講座内容・対象により託児の必要性を判断し、託児付きの講座の開催した。</li> </ul>	B	前年度同様に、託児付きの講座を開催した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座内容・対象により託児の必要性を判断し、託児付きの講座の開催</li> </ul>	関係各課
	取組番号	取組項目		取組の方向				
	25	男女平等参画に関する事業等の周知		多様な媒体を利用して、男女平等参画に関する意識啓発、事業の周知等を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)		対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等参画講座の開催を広報おうめ等で行った。</li> <li>配偶者等からの暴力の防止(4講座企画、中止) 女性の就業支援(2講座実施)</li> <li>ワーク・ライフ・バランスの推進(2講座企画、中止) 防災分野における男女平等参画の推進(1講座実施)</li> <li>女性リーダーの育成(1講座実施)</li> </ul>	B	前年度同様に企画したが、新型コロナウイルス感染症対策ため実施できない講座があった。 HPで中止の周知をした。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等参画講座の開催</li> </ul>	市民活動推進課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進事業の実施</li> <li>男女平等情報紙(21号・22号)を令和元年9月と令和2年3月の2回発行した。</li> <li>男女共同参画週間の周知 女性に対する暴力をなくす運動の情報周知</li> <li>市ホームページへ男女平等参画情報等を掲載</li> <li>パネル展を実施した。</li> </ul>	B	前年度同様に、実施した。 前年度同様に、実施した。 前年度同様に、実施した。 前年度同様に、実施した。 前年度同様に、実施した。		<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進事業の実施 市民協働による男女平等情報紙の年2回の発行</li> <li>広報紙への男女平等参画情報の掲載</li> <li>市ホームページの男女平等参画情報等の掲載 ポスター・パネル・チラシ・パンフレット等による男女平等参画に関する啓発</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口にてチラシ等を配架</li> </ul>						

懇談会評価	○	男女平等参画の啓発の取組については、概ね実施できていると思われる。事業の中止などの後には相談窓口の配慮や虐待防止ダイヤルの周知などにも努められたい。
-------	---	--



目標Ⅱ 社会のあらゆる分野における男女平等参画への推進  
 課題1 行政・防災分野における男女平等参画の推進（重点課題）

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
政策・方針決定過程への女性の参画	26	審議会等委員の女性委員の参画促進	市政の方針・政策決定過程に影響力のある審議会・委員会等への女性委員の割合が3割を超えるようにしていきます。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・庁内会議等で女性委員の参画を促した。	B	前年同様に実施した。	継続	・庁内会議等で女性委員の参画を促す。	市民活動推進課
		・進ちよく状況報告書により女性委員の割合を公表した。	B	前年度同様に実施した。	継続	・進ちよく状況報告書により女性委員の割合を公表する。	文書法制課
		・「青梅市付属機関等の設置運営に関する指針」に基づき女性委員、公募委員の拡充に努めた。	B	前年度同様に実施した。			
	・上記指針にもとづき、引き続き、女性委員の積極的な登用に努めた。	B	前年同様に実施した。	継続	・引き続き、「青梅市付属機関等の設置運営に関する指針」に基づき女性委員、公募委員の拡充を図る。	関係各課	
	・上記指針にもとづき、引き続き、女性委員の積極的な登用に努める。						
	27	市政への市民意見の反映	市政などへの女性の参画を促進し、女性市民の意見を広く市政に反映する機会を拡充します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・引き続き、市民と市長との懇談会、市長への手紙を実施	B	市内3市民センターおよび市役所にて市民と市長との懇談会を実施した。また、前年度に引き続き、子育て世代と市長との懇談会を子育て支援センターおよび文化交流センターにて実施した。	継続	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、今年度の開催を見送ることとする。市長への手紙は継続して実施。	企画政策課 市民安全課
・各種計画等の策定段階でのパブリックコメントを実施		B	市長への手紙を公共施設に配置した。パブリックコメントを実施し広く市民の意見を求めた。	継続	・各種計画等の策定段階でのパブリックコメントの実施	関係各課	
施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
災害時の対応における男女平等参画の推進	28	地域防災計画への女性の意見の反映	地域防災計画の修正にあたり女性の視点。意見の反映を図ります。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・女性委員を含む防災会議を開催し、青梅市地域防災計画の年次修正を実施	B	地域防災計画の修正を実施した。	継続	・防災会議を開催し、青梅市地域防災計画の年次修正を実施	防災課
	29	避難所運営等での男女平等参画の促進	避難所運営等にあたり男女平等参画の促進を図ります。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・防災訓練での避難所運営における炊き出し訓練を中心とした女性の参加を促進した。	B	総合防災訓練への女性参加の周知に努めた。	継続	・防災訓練への女性参加促進	防災課
		・避難所運営マニュアルを作成		女性の意見を踏まえ避難所運営マニュアルを作成した。	継続	・避難所運営マニュアルの作成	市民活動推進課
		・自治会等との連携による避難所運営に関する講座を実施	B	青梅市民センターにおいて女性の視点からの避難所運営に関する講座を実施した。		・自治会等との連携による避難所運営に関する講座を実施	

懇談会評価	◎	行政・防災分野における男女平等参画の推進の取組については、順調に実施できていると思われる。市政への市民意見の反映については、素早い対応が取られており評価できる。今後も紙と電子の2種類で広く受付を継続されたい。防災分野についても、女性の視点からの意見を取り入れ、今後も継続して取組を図られたい。
-------	---	--

課題2 地域・家庭における男女平等参画の推進

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
地域活動への男女平等参画の推進	30	啓発活動の促進	地域活動等への積極的な参加を働きかけるとともに、地域に対して男女平等参画に関する情報提供を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等情報紙を自治会加入世帯へ配布した。関連各課および各市民センターのパンフレットスタンドにより男女平等情報紙を配布市内のJR3駅に配架した。</li> <li>パンフレットスタンドのほか、窓口や受付などにもパンフレットを置けるようにし、情報提供を図った。</li> </ul>	B 前年度同様実施した。  前年度同様実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等情報紙を自治会加入世帯へ配布関連各課および各市民センターのパンフレットスタンドにより男女平等情報紙を配布市内のJR3駅に配架</li> <li>パンフレットスタンドのほか、窓口や受付などにもパンフレットを置けるようにし、情報提供を図る。</li> </ul>	市民活動推進課（本庁舎・市民センター）
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	31	青梅ボランティア。市民活動センターの活動の促進	男女平等の視点からボランティア活動を支えるため青梅市ボランティア・市民活動センターの活動を促進します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「青梅ボランティア・市民活動センター」を市民活動団体の活動の拠点と位置づけ、市民活動団体の活動を支援した。</li> </ul>	B 青梅ボランティア・市民活動センターにおいて、市民活動団体に対し、活動の場の提供、各種相談受付、情報提供を行った。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>「青梅ボランティア・市民活動センター」を市民活動団体の活動の拠点と位置づけ、市民活動団体の活動を引き続き支援していく。</li> </ul>	市民活動推進課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	32	NPO・ボランティア活動の活性化および協働の推進	男女平等参画の視点から市民活動団体との連携・協働事業を促進します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民提案事業を実施した。</li> <li>新任職員研修の実施。協働事業推進員を対象に協働に対する意識向上を図るための研修の企画をした。</li> <li>市民活動団体の組織等を強化するため、市民活動団体向けの講座を開催した。</li> <li>協働事業市民推進委員会を開催し、市民の立場から協働に対する意見等を伺った。</li> <li>市民活動のPRコーナーを活用し、市民活動団体の活動状況等をPRした。</li> <li>出前講座のメニューに「あなたなりの「ボランティア」始めませんか？」を設定した。</li> <li>市民活動中の事故を保険で補填するため市民活動災害補償制度を引き続き適用した。</li> <li>青梅ボランティア・市民活動センターにてボランティア保のを受付をした。</li> </ul>		B 4件の市民提案事業を実施した。 新任職員研修の実施。協働推進員対象に講座を企画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 市民活動団体向けに「クラウドファンディング活用講座」を実施した。 協働事業市民推進委員会より、市民の立場からの意見を伺った。 前年同様に、PRに努めた。  前年同様設定した。  前年度同様実施した。  前年度同様実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民提案事業を実施する。</li> <li>新任職員、協働事業推進員を対象に協働に対する意識向上を図るための研修を実施する。</li> <li>市民活動団体の組織等を強化するため、市民活動団体向けの講座を開催する。</li> <li>協働事業市民推進委員会を開催し、市民の立場から協働に対する意見等を伺う。</li> <li>市民活動のPRコーナーを活用し、市民活動団体の活動状況等をPRする。</li> <li>出前講座のメニューを設定する。</li> <li>市民活動中の事故を保険で補填するため市民活動災害補償制度を引き続き適用する。</li> <li>青梅ボランティア・市民活動センターにて引き続きボランティア保険の受付を行う。</li> </ul>	市民活動推進課	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
地域活動への男女平等参画の推進	33	女性リーダーの育成	地域活動における、女性リーダーを育成し、支援します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)		対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>女性リーダー育成講座を開催した。</li> <li>女性リーダー育成のため、企業の女性社員等を対象にセミナーやマネジメントスクールを実施するとともに、成果報告会を開催した。</li> </ul>	B B	連続講座を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策のため半分の日程となった。 前年度同様実施した。	継続 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性リーダー育成講座の開催</li> <li>女性リーダー育成のため、企業の女性社員等を対象にセミナーやマネジメントスクールを実施するとともに、成果報告会を開催</li> </ul>	社会教育課 市民活動推進課 市民活動推進課
施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
家庭における男女参画の確立	34	男女平等参画による家事・育児・介護などの促進	男女がともに参加できる家事・育児・介護などの講座を開催します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)		対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>講座を開催</li> <li>母子手帳交付時「父親ハンドブック」を配布</li> <li>プレママクラス（母親学級）を開催 3日間コース 7回 体験コース 6回</li> <li>ブックスタート事業用の絵本を配布</li> <li>子育て支援ガイドを配布</li> </ul>	B B B B B	前年度同様実施した。 前年度同様実施した。 赤ちゃんのお風呂入れやおむつ交換などの体験コースを増やした。また、プレママクラスでは、先輩ママとの交流を取り入れた。 前年度同様実施した。 昨年同様、子育て支援ガイドを作成し、配布した。	継続 廃止 継続 継続 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催</li> <li>母親（両親）学級の開催</li> <li>ブックスタート事業用の絵本の配布</li> <li>「子どもの権利条約」について掲載した子育て支援ガイドを配布</li> </ul>	関係各課 健康課 健康課 健康課 子ども家庭支援課 子ども家庭支援課
		取組番号	取組項目	取組の方向			
		35	家庭生活への男性の参画支援	男性が家事・育児を積極的に行えるための講座を開催します。			
令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)		対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課		
<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催</li> </ul>	B	ワーク・ライフバランス講座企画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催</li> </ul>	市民活動推進課		

懇談会評価	○	地域・家庭における男女平等参画の推進の取組については概ね実施できていると思われる。今後もNPO・ボランティア団体の活動支援を継続されたい。女性リーダーの育成については引き続き推進されたい。
-------	---	--

課題3 生涯を通じた男女の心と体の健康支援

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
母子保健事業の充実	36	母子保健に関する指導・助言	母親学級等を通じて、女性の生涯を通じた健康のための情報を提供します。また、相談事業も行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・プレママクラス（母親学級）を開催 3日間コース 7回 体験コース 6回	B 赤ちゃんのお風呂入れやおむつ交換などの体験コースを増やした。また、プレママクラスでは、先輩ママとの交流を取り入れた。	継続	・プレママクラス（母親学級）の開催	健康課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	37	各種健康診査と育児支援	母子の健康・健全な生活習慣の確立・子どもの健全育成の支援のために、各種健康診査等を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・妊婦健康診査（1回目～14回目・超音波検査）妊婦 実数1,018人、延べ8,996人 超音波593人 新生児聴覚検査 564人 ・妊婦歯科健康診査 妊婦 73人 ・産婦健康診査 産後6か月以内の産婦683人 ・乳幼児健康診査 3～4か月児 691人 1歳6か月児 669人 3歳児 770人 ・乳児健康診査（委託機関で実施） 6か月児・9か月児626人・618人 ・乳幼児経過観察健康診査 乳幼児 332人 ・乳幼児発達健康診査 乳幼児 58人 ・乳幼児精密健康診査 乳幼児 52人 ・幼児歯科予防処置 2歳児・2歳6か月児 697人 ・健康指導（面接相談） 妊婦・産婦 1,602人（1,277人+325人） 乳幼児 2,988人 小学生以上 6人	前年度と同様に各種健診等を実施した。	継続	・妊婦健康診査（1回目～14回目・超音波検査） ・妊婦歯科健康診査 ・産婦健康診査 ・乳幼児健康診査 ・乳児健康診査（委託機関で実施） ・乳幼児経過観察健康診査 ・乳幼児発達健康診査 ・乳幼児精密健康診査 ・幼児歯科予防処置 ・健康指導（面接相談）	健康課

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
健康に生活していくための支援	38	健康管理意識の高揚	年齢や性別に応じた各種健康診査や健康に関する講座等を開催し、健康管理意識を高めます。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのための学習活動の推進に努めた。 女性の健康づくり 保健指導は新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施せず、パネル展示やリーフレット配布を実施 計120人</li> <li>骨粗しょう症の予防 (講座、運動実践) 3回 (保健指導) 10回 計 469人</li> <li>おうめ健康まつりの実施 5月19日に青梅市役所で「第50回おうめ健康まつり」を青梅市三師会、青梅市の主催で実施した。 延参加者 5,700人  午前10時～午後2時 各種相談、ヘルスチェック、生活習慣病の予防、梅っこ体操、転倒予防教室、Myストレッチ教室、骨密度測定、血管年齢測定等を実施した。  講演会(午後1時半～3時) 「夢の実現～挑戦することの大切さ～」 講師 古賀 稔彦 氏</li> <li>各種健康診査を実施した。 胃がん検診 1,750人 子宮頸がん検診 (2年に1度) 2,053人 乳がん検診 (2年に1度) 2,419人 呼吸器(肺がん)検診 2,038人 大腸がん検診 15,798人 骨密度検診 793人 成人歯科検診 259人</li> <li>介護予防事業の実施 高齢者クラブウォーキング教室：全2日間×3クラブ、延参加者129人 健康寿命のび～る教室：全12回×年3回、全10回×年1回(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2回分中止) 延参加者498人 脳イキイキ教室：全5回×年1回、全4回×年1回(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、1回分中止)、延参加者126人 介護予防講演会：年2回、延参加者数170人 梅っこ体操の普及啓発：15回</li> </ul>	<p>B</p> <p>健康づくりの講演会において、医師による講演会を実施した。</p> <p>B</p> <p>平成27年度からの指針である第3次健康増進計画、第2次食育推進計画を推進し、実施内容について青梅市三師会と協議し充実(分野別に参加型事業)を図った。 令和2年度からの指針である第4次健康増進計画・第3次食育推進計画を委員と協議し策定した。</p> <p>各種健康診査を実施した。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのための各種教育・相談事業の実施</li> <li>対象者に応じた各種教育・相談事業</li> <li>おうめ健康まつりの実施</li> <li>各種健康診査の実施</li> <li>介護予防事業の実施</li> </ul>	<p>健康課</p> <p>健康課</p> <p>高齢者支援課</p>

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
健康に生活していくための支援	39	スポーツ・レクリエーションの推進	各種スポーツ大会や有酸素運動普及事業等を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室の充実に努めた。 (ジュニアスポーツ教室) バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、新体操、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、水泳(その他のスポーツ教室) 親子で体験♪夏休みだよ♪少林寺拳法教室 青梅マラソンの走り方教室 ボッチャ体験会 ランニングのための姿勢づくりストレッチ教室 柔剣道教室</li> <li>各種大会の実施 第54回青梅マラソン大会 第81回奥多摩溪谷駅伝競走大会 第30回スポーツレクリエーションフェスティバル 第29回西多摩地域広域行政圏体育大会 ※台風19号被害により中止 第60回市民体育大会(30種目) 体協加盟30団体等 地区市民運動会 12地域 9月～10月 キンボール交流大会</li> <li>リズムトレーニング 元気に！楽しく！梅っこ体操教室</li> <li>スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム</li> <li>多摩川流域魅力体験事業・多摩川カヌー駅伝大会&amp;クイズウォークラリー ※台風19号被害により中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢専門のプロによるランニングの基礎となる姿勢づくりのためのストレッチ教室や各種スポーツ教室を行い、老若男女幅広い世代に向けて、運動の場を提供した。</li> <li>市の一大イベントである青梅マラソン大会では、女性専用の仮設トイレエリアを各所に設け、女性も参加しやすい環境づくりを行った。</li> <li>奥多摩溪谷駅伝競走大会は81回を数え、昨年より新たに設けた「支会・自治会の部」や「中学生の部」「小学生の部」については、特に募集に力を入れたことで、昨年に比べチームの出場数を増加させ、大会の盛況を図った。</li> <li>スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、様々な種目の教室や体験会を実施した。</li> <li>補助金を活用し、リズムトレーニング講習を行い、小・中学生の運動能力向上にあたった。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ教室の充実(ジュニアスポーツ教室) バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、新体操、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、水泳(その他のスポーツ教室) 親子で体験♪夏休みだよ♪少林寺拳法教室 青梅マラソンの走り方教室 ボッチャ体験会 正しい姿勢でウォーキングしよう♪姿勢を整えるS-BODYストレッチ教室 柔剣道教室</li> <li>各種大会の実施 第55回記念青梅マラソン大会 第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会 第31回スポーツレクリエーションフェスティバル 第30回西多摩地域広域行政圏体育大会 第61回市民体育大会(30種目) 体協加盟30団体等 ボッチャ交流会</li> <li>地域スポーツクラブや各種スポーツ団体との共催による各種スポーツ教室</li> <li>リズムトレーニング 梅っこ体操普及事業</li> <li>スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム ラグビー教室</li> <li>ウォーキングフェスタ</li> </ul>	スポーツ推進課

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
健康に生活していくための支援	40	スポーツ指導者の育成	適切なアドバイスや実技のできる指導者の育成を図ります。				
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)		対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・スポーツ推進委員協議会開催した。12回	B	様々な研修会・講習会を通して、適切なアドバイスや実技の出来る指導者の育成を図った。	継続	・スポーツ推進委員協議会開催	スポーツ推進課
		・研修会を開催した。10回			・研修会		
	取組番号	取組項目		取組の方向			
	41	スポーツに親しめる環境づくり		学校体育施設の開放、民間温水プールの確保等スポーツに親しめる環境づくりの充実を図ります。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)		対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・学校体育施設を開放した。体育館 利用回数 4,374回	B	学校体育施設、民間温水プールともに昨年同様に開放し、引き続きスポーツに親しめる環境づくりに努めた。	継続	・学校体育施設の開放 体育館および校庭	スポーツ推進課
		・民間温水プール施設の活用 民間温水プールを借り上げ、日曜日10時から18時まで開放した。 セントラルフィットネスクラブ西東京(42回) 利用者 1,958人			・民間温水プール施設の活用 セントラルフィットネスクラブ西東京の温水プールを借り上げ、日曜日10時から18時まで開放		

懇談会評価	○	生涯を通じた男女の心と体の健康支援の取組については、概ね実施できていると思われる。プレマクラスについては、今後も利用者の意見を反映した方法での開催に努められたい。
-------	---	---

課題4 外国人への支援

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
外国人への支援	42	外国人居住者への日常生活の情報提供	市内在住外国人が充実した生活を送れるための情報をホームページなどで提供します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		・多言語による情報提供をした。	B	防災ハンドブック（避難場所の表記を6か国語で対応）や市ホームページの多言語化を引き続き実施した。	継続	・多言語による情報提供	関係各課
		取組番号	取組項目	取組の方向			
	43	国際交流ボランティア活動の促進	語学ボランティアにより、青梅マラソン等に参加する外国人を支援し、市民レベルの国際交流を促進します。				
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	・青梅マラソン大会の通訳ボランティアの実施 2人(英語2人)	B	・語学ボランティアを積極的に活用することにより、青梅マラソン等に参加する外国人を支援し、市民レベルの国際交流を促進した。	継続	・青梅マラソン大会に外国人招待選手への通訳ボランティアを実施する。	秘書広報課	

懇談会評価	○	外国人への支援については概ね実施できていると思われる。多言語による情報提供は今後もその効果が発揮されるよう努め、言語の数も増やせるよう進められたい。
-------	---	--



課題5 生活の安定と自立の支援

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
特別な配慮を必要とする男女への支援	44	ホームヘルプサービスの実施	ひとり親家庭や障害者等に対し必要に応じた適切なサービスを実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・ひとり親家庭に対し、月に12回（技能習得の通学等は24回）を限度として2時間以上8時間までの時間で派遣をした。 派遣回数：3世帯97回	B 前年度と同様に実施した。ひとり親家庭に対し、必要に応じたホームヘルプサービスの実施に努めた。	継続	・ひとり親家庭に対し、月に12回（技能習得の通学等は24回）を限度として2時間以上8時間までの時間で派遣	子ども家庭支援課
		・障害福祉施策にもとづく居宅介護サービスの実施した。 利用者数 118人 65,176千円	B 前年度と同様に実施した。	継続	・障害福祉施策にもとづく居宅介護サービスの実施	障がい者福祉課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	45	ひとり親家庭等に対する各種貸付・就業支援	貸付金制度、就業支援の充実に努めます。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・東京都母子・父子・女性福祉資金の貸付をした。 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業を実施した。 ・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業を実施した。  ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を実施した。	B 前年度と同様に実施した。東京都母子・父子・女性福祉資金の貸付および母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業、母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業、ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を実施し、就業支援に努めた。	継続	・東京都母子・父子・女性福祉資金の貸付 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業の実施 ・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業の実施  ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の実施	子ども家庭支援課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	46	ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭等に対する医療費の助成を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・ひとり親家庭等の親と児童の医療費の自己負担分の一部を助成した。	B 前年度と同様に実施した。	継続	・ひとり親家庭等の親と児童の医療費の自己負担分の一部を助成	子育て推進課
取組番号	取組項目	取組の方向				
47	ひとり親家庭等に対する手当の支給	児童扶養手当、児童育成手当の支給を行います。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	・ひとり親家庭等の保護者に、児童扶養手当、児童育成手当を支給した。	B 厚生労働省の通知にもとづき、子どもの貧困に対応するため未婚のひとり親に対して臨時特別給付金事務を実施した。 その他は前年度と同様に実施した。	継続	・ひとり親家庭等の保護者に、児童扶養手当、児童育成手当を支給	子育て推進課	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
特別な配慮を必要とする男女への支援	48	障害者等の生活支援	生活利便を図るための住宅改造費用助成を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・重度身体障害者(児)の生活利便を図るため、居住する玄関等の住宅設備の改善費を支給した。 支給件数 3件 給付額 2,449千円	B 前年度と同様に実施した。	継続	・重度身体障害者(児)の生活利便を図るため、居住する玄関等の住宅設備の改善費を支給	障がい者福祉課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	49	障害者等の障害福祉サービス	ショートステイ事業等障害福祉サービスを実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
	・短期入所(ショートステイ)事業を実施した。 利用者数 119人 73,422千円	B 障害者福祉計画に定める見込量をわずかに下回ったが、大幅な減少とはならなかった。	継続	・短期入所(ショートステイ)事業の実施	障がい者福祉課	
施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
高齢者への支援	50	高齢者の生活支援	紙おむつ等給付事業や配食サービス事業など生活支援サービスを提供します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・紙おむつ給付事業の実施 ・高齢者配食サービスを実施 週3回 利用者 205人 延 22,556食	B 前年度同様、事業目的に沿った事業を実施した。	継続	・紙おむつ給付事業の実施 ・高齢者配食サービスの実施	高齢者支援課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	51	高齢者の生きがいがづくり	高齢者の生きがいがづくりに関する講座や、高齢者クラブの支援等を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・高齢者教養講座を開催した。 ・高齢者クラブへの補助金交付した。	B 高齢者教養講座について、事業目的に沿って事業を実施した。 B 高齢者クラブ連合会および単位高齢者クラブに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進を図った。	廃止 継続	・高齢者教養講座の開催 ・高齢者クラブへの補助金交付	高齢者支援課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	52	高齢者の社会参加と能力活用	シルバー人材センター事業の利用を促進します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
	・シルバー人材センター事業の利用促進 受託事業 登録会員数 1,154人 実就業人数 820人 (就業率71.1%) 就業延人数 81,668人 受託件数 4,561件 契約金額 420,975,420円 労働者派遣事業 受託件数 1件 契約金額 2,785円	B シルバー人材センターに対し、就業機会の確保・拡大を図った。	継続	・シルバー人材センター事業の利用促進	高齢者支援課	

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
高齢者への支援	53	介護保険制度に関する周知	介護保険制度を周知するとともに、介護保険事業を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・「広報おうめ」や「おうめ健康まつり」等で介護保険制度の周知に努めた。	B	広報おうめに特集頁を設け、令和元年10月の消費税率引き上げに伴う保険料軽減等、介護保険制度の変更点について周知を行うなど、制度改正が頻繁に行われる介護保険制度について、時機をとらえた周知に努めた。	継続	・「広報おうめ」等や市のイベントで周知に努める。
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	54	高齢者の総合相談の実施	高齢者の介護等にかかる総合相談を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)	対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和元年度事業予定	所管課
		・地域包括センターにおける総合相談の実施 延べ5,360件  ・認知症に関する悩みごと相談の体制拡充を図った。	B	認知症支援コーディネーターを常時配置するとともに、出張相談会場については高齢者の利便性の高いスーパーで開催をし、相談体制づくりの拡充を図った。	継続	・地域包括センターにおける総合相談の実施  ・認知症に関する悩みごと相談（もの忘れ相談）の実施

懇談会評価	○	生活の安定と自立の支援の取組としては概ね実施できていると思われる。シルバー人材センターの派遣事業の取組には今後も期待する。高齢化が進む中で多種多様な活躍の場があると良い。
-------	---	---

目標Ⅲ 働く場における男女平等参画とワーク・ライフ・バランスの推進

課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進（重点課題）

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
企業や事業主への啓発と情報提供	55	企業等へのワーク・ライフ・バランスの啓発	市内の企業に対し、ワーク・ライフ・バランスの講演会等の実施、および情報収集を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅商工会議所と共催による講座を企画したが中止した。</li> <li>・男女平等情報紙（21号・22号）による情報提供パネル展示による啓発に努めた。</li> </ul>	B	青梅商工会議所と連携し、企業・事業主を対象にしたワーク・ライフ・バランス講座を企画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	継続	・青梅商工会議所との共催による講座の開催	商工観光課 市民活動推進課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等情報紙（21号・22号）による情報提供パネル展示による啓発に努めた。</li> </ul>	B	男女平等情報紙発行にあたり情報収集および情報提供に努めた。パネル展示による啓発に努めた。	継続	・男女平等情報紙による情報提供パネル展示による啓発	市民活動推進課
施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
男女の意識改革の推進	56	働く人に対するワーク・ライフ・バランスの啓発	働く人に対し、ワーク・ライフ・バランスの講演会等の実施および情報収集を行います。				
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅商工会議所と共催による講座を企画したが中止とした。</li> <li>・男女平等情報紙（21号・22号）による情報提供およびパネル展示による啓発に努めた。</li> </ul>	B	青梅商工会議所と連携し、働く人に対し、ワーク・ライフ・バランス講座を企画したが新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	継続	・講座の開催 社会動向を注視しながら、講座の実施方法も検討する。	商工観光課 市民活動推進課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等情報紙（21号・22号）による情報提供およびパネル展示による啓発に努めた。</li> </ul>	B	情報紙の発行にあたり情報収集および情報提供に努めた。	継続	・男女平等情報紙による情報提供およびパネル展示による啓発	市民活動推進課

懇談会評価	○	ワーク・ライフ・バランスの推進の取組としては概ね実施できていると思われる。講座の実施については、オンラインでの実施なども検討されたい。
-------	---	---

課題2 働く場における男女平等参画の推進

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
働きやすい職場環境づくり	57	労働相談の開催	労働相談を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・社会保険労務士による相談を実施(平日・夜間・休日)した。	B	社会保険労務士による労働相談を月1回実施した。受付時に予め主旨を聴取することで円滑な相談を支援した。	継続	・社会保険労務士による相談の実施(平日・夜間・休日)社会動向を踏まえ、実施形態の見直し、運用方法を検討する。
	取組番号	取組項目		取組の方向		
	58	講座等の開催	労働者を対象とした講座や研修会を実施します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・ハローワーク青梅との共催で、就職支援セミナーを実施した。	B	ハローワーク青梅と共催し、シニア、新卒、女性の再就職支援セミナー等を実施した。	継続	・ハローワーク青梅との共催で、就職支援セミナーを実施社会動向を踏まえ、臨機応変に対応していく。
	取組番号	取組項目		取組の方向		
	59	商工・自営業等の労働者への支援	情報や学習機会の提供を行うとともに、青梅市中小企業従業員等互助会、特定退職金・中小企業退職金制度への加入を促進します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・関係機関からのパンフレット等を窓口配布した。 ・青梅市中小企業従業員等互助会への加入促進を図った。 ・特定退職金・中小企業退職金制度への加入促進を図った。 ・併せて加入者に対する補助金制度がある旨の周知した。	B	青梅市中小企業従業員等互助会、特定退職金・中小企業退職金制度への加入を促進し支援を図った。	継続	・関係機関からのパンフレット等の窓口配布 ・青梅市中小企業従業員等互助会への加入促進 ・特定退職金・中小企業退職金制度への加入促進 ・併せて加入者に対する補助金制度がある旨の周知
	施策	取組番号	取組項目	取組の方向		
セクシュアル・ハラスメント等の防止	60	各種ハラスメントの防止に向けた啓発	セクシュアル・ハラスメントをはじめとする様々な嫌がらせなどは重大な人権侵害であることや、被害相談の窓口等を周知します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・パンフレット等による周知をした。	B	国や都の関係部局から送致された啓発ポスター、リーフレットを配架した。	継続	・HP、パンフレット等による周知

懇談会評価	○	働く場における男女平等参画の推進の取組としては概ね実施できていると思われる。休日・夜間の労働相談の対応は大変であろうが継続をされた。ハローワーク青梅と共催の各種セミナーは継続し、市民の就職への支援に努められたい。
-------	---	--

課題3 女性の就業支援

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
就業・キャリア形成の支援	61	能力開発および就業意識向上のための講座の開催および情報提供	働く女性の能力開発および就業意識向上のための講座を開催し、情報提供を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・働く女性を対象としたパソコン教室開催した。	B 働く女性のスキルアップや再就職支援のためのパソコン教室を開催した。	継続	・働く女性を対象としたパソコン教室の開催	商工観光課 市民活動推進課
	取組番号	取組項目		取組の方向		
	62	農業等に従事する女性の支援	農業等に従事する女性を対象とした学習機会の提供を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・農家女性後継者を対象とした事業を実施した。 ・農産加工講習会を実施 ・野菜栽培講習会を実施	B 引き続き青梅市唯一の女性後継者団体を支援した。	継続	・農家女性後継者を対象とした事業の実施 ・農産加工講習会 ・野菜栽培講習会	農林水産課
	取組番号	取組項目		取組の方向		
	63	再就職支援のための講座の開催および情報提供	結婚・出産等により、退職した女性の再就職支援講座を実施し、再就職支援情報を提供します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・ハローワーク後援で女性の再就職支援講座を開催した。	B ハローワーク後援で女性の再就職支援講座の開催や求職セミナーを実施し、再就職の支援を行った。	継続	・ハローワーク後援で女性の再就職支援講座の開催	市民活動推進課 商工観光課
	取組番号	取組項目		取組の方向		
	64	再就職支援のための母子・父子家庭自立支援プログラムの策定	母子・父子自立支援員による就労支援プログラムを策定し、ハローワークと連携し就労支援を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・母子・父子自立支援員による就労支援プログラム策定を実施した。	B 前年度同様に実施した。	継続	・引き続き、就労支援プログラムを策定し、ハローワークと連携し就労対策を実施	子ども家庭支援課

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
就業・キャリア形成の支援	65	ハローワークとの共催講座の開催	ハローワークとの共催講座を行い、就業機会の増加を図ります。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・ハローワーク後援で女性の再就職支援パソコン講座を開催し、講座内で求職セミナーを開催した。 ・ハローワークと共催でお母さんの就職応援セミナーを開催した。	B 前年度同様に実施した。	継続	・ハローワーク後援で女性の再就職支援パソコン講座の開催 ・講座内で求職セミナーの実施	市民活動推進課 商工観光課
			B 前年同様に実施した。	継続	・ハローワークと共催でお母さんの就職応援セミナーを開催	子ども家庭支援課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
66	女性活躍の啓発および取組の推進	働く女性や働くことを希望する女性はその個性と能力を発揮して活躍できるよう啓発など各種取組を実施します。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	・女性活躍推進事業を実施した。	B 前年度に引き続き、青梅商工会議所・奥多摩町共催で女性活躍推進事業を実施した。	継続	・女性活躍推進事業の実施	市民活動推進課	

懇談会評価	○	女性の就業支援の取組としては概ね実施できていると思われる。農業等に従事する女性の支援は継続されたい。ハローワーク共催のお母さんの就職応援セミナーなど、働きたいお母さんの支援は実績も踏まえ継続されたい。
-------	---	--

課題4 子育て・介護への支援

施策	取組番号	取組項目	取組の方向				
保育・育児サービスの充実	67	民間保育所の保育内容の充実	施設整備等の実施に伴う保育環境の向上および各種保育事業の充実を図ります。				
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)		対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>民間保育所の増改築および新たに認可保育所を2か所開設</li> <li>一時保育 9保育所</li> <li>延長保育 30保育所</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間保育所の増改築2ヵ年工事の2年目工事および認可保育所の開設に伴う施設整備工事を2か所実施し完了した。</li> <li>一時保育 9保育所</li> <li>延長保育 30保育所</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園型認定こども園への移行に伴う施設整備工事を実施</li> <li>一時保育 10保育所</li> <li>延長保育 32保育所</li> </ul>	子育て推進課
	取組番号	取組項目		取組の方向			
	68	学童保育事業の充実	柔軟な受入体制を取り、待機児童の解消に努めます。				
		令和元年度事業実績 (対前年進捗よく度)		対前年進捗よく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>39こどもクラブ（民間2含む）による学童保育事業を実施した。</li> <li>補助制度による民間事業者の参入促進を図った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童削減のため第1、第2、第4学童保育所を平成30年度に施設整備を行い、令和元年度から増設して開所した。</li> <li>補助制度による民間事業者の参入促進し、令和2年度の民設民営の学童保育所1クラブの施設整備費を予算計上した。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>39こどもクラブ（民間2含む）による学童保育事業の実施</li> <li>補助制度による民間事業者の参入促進し、民設民営の学童保育所1クラブの施設整備費を補助</li> </ul>	子育て推進課



施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
保育・育児サービスの充実	69	子育て支援事業・子育てひろば事業の充実	子育て支援センター、子育て支援事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てひろば事業等を充実します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センター、子育て支援事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てひろば事業を実施した。</li> <li>子育て支援センターの管理運営 開設日数 344日 延利用者数 21,316人</li> <li>子育て支援センター、各市民センターにおいて子育て支援事業の実施した。 延実施回数 255回 延利用者数 4,425人</li> <li>ファミリーサポートセンター事業を実施した。 会員数 867人 延活動回数 1,008回</li> <li>文化交流センター内に子育てひろば「にこにこ」を令和元年5月に開設した。</li> <li>子育てひろば（子育て支援センター、永山ふれあいセンターの「キッズぱーく」、12保育所、東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」下長瀬自治会館「とことこ」、文化交流センター内「にこにこ」）事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「キッズぱーく」（永山ふれあいセンター閉鎖にともない平成31年4月末まで終了） 開設日数 21日 延利用者数 221人</li> <li>「おひさま広場」 開設日数 347日 延利用者数 11,490人</li> <li>「ウメスタ」 開設日数 347日 延利用者数 9,944人</li> <li>「とことこ」 開設日数 129日 延利用者数 2,620人</li> <li>「にこにこ」（令和元年5月開設） 開設日数 312日 延利用者数 5,995人</li> </ul> </li> </ul>	B 前年度と同様に各施設において実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センター、子育て支援事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てひろば事業を実施</li> <li>子育て支援センターの管理運営</li> <li>子育て支援センター、各市民センターにおいて子育て支援事業の実施</li> <li>ファミリーサポートセンター事業を実施</li> <li>子育てひろば（子育て支援センター、12保育所、東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」下長瀬自治会館「とことこ」、文化交流センター「にこにこ」）事業を実施</li> </ul>	子ども家庭支援課

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
保育・育児サービスの充実	70	子育て相談の開催	子ども家庭支援センター、子育て世代包括支援センターにおいて相談を実施します。また、子育てひろば事業、子育て支援事業において簡易な子育て相談を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センターでの相談を実施した。新規相談受理件数 711件</li> <li>子ども家庭支援センターでの総合相談を実施した。新規相談受理件数 1,152件</li> <li>簡易な相談の実施</li> <li>子育てひろば（子育て支援センター、永山ふれあいセンターの「キッズパーク」（永山ふれあいセンター閉鎖にともない平成31年4月末まで終了）、12保育所、東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」下長瀬自治会館「とことこ」、文化交流センター内「にこにこ」（令和元年5月開始））での実施した。</li> <li>各市民センターにおいて子育て支援事業として子どもと保護者の集いの場の提供や簡易な子育て相談を実施した。</li> </ul>	B	妊娠・出産・子育て期を通じて、子育て世代へ「切れ目ない支援」を提供できるよう、「総合相談窓口」として相談を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センターでの相談の実施</li> </ul>
		B	前年度と同様に各施設において実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭支援センターでの総合相談の実施</li> <li>簡易な相談の実施</li> <li>子育てひろば（子育て支援センター、12保育所、東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「ウメスタ」下長瀬自治会館「とことこ」、文化交流センター内「にこにこ」）での実施</li> </ul>	子ども家庭支援課
					<ul style="list-style-type: none"> <li>各市民センターにおいて子育て支援事業として子どもと保護者の集いの場の提供や簡易な子育て相談を実施</li> </ul>	
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	71	乳幼児ショートステイ事業	保護者の一時的な養育困難による宿泊も含めた一定期間の養育を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「東京恵明学園」に委託し、ショートステイ事業の実施</li> <li>延利用人員 37人</li> <li>延利用件数 105日</li> </ul>	B	前年度と同じ施設で事業を実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>ショートステイ事業の実施</li> </ul>
	取組番号	取組項目	取組の方向			
72	私立幼稚園等保護者に対する補助金の交付	私立幼稚園等の園児の保護者に対し、補助金を交付し、負担軽減を図ります。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立幼稚園等園児の保護者に対し補助金を交付し、負担軽減を図った。</li> <li>私立幼稚園等園児保護者補助金の交付 対象園児数 889人 補助金交付額 58,808,000円</li> <li>私立幼稚園就園奨励費補助金の交付 対象園児数 423人 補助金交付額 29,153,000円</li> <li>私立幼稚園等入園料補助金の交付 対象園児数 298人 補助金交付額 2,906,000円</li> </ul>	B	前年度と同様に実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立幼稚園等園児の保護者に対し補助金を交付し、負担軽減を図る。</li> <li>私立幼稚園等園児保護者補助金の交付</li> <li>私立幼稚園等入園料補助金の交付</li> </ul>	子育て推進課

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
保育・育児サービスの充実	73	子育て支援制度の情報提供	広報、パンフレット等により、子育て支援制度情報を周知します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て関連情報の情報収集と提供を行った。</li> <li>「子育て支援ガイド」を作成し、保育所等を通して子育て中の世帯へ配布し、子育て支援制度情報を周知した。</li> <li>青梅市子育てアプリ「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」での子育て関連情報の提供を行った。</li> <li>「こんにちは赤ちゃん事業」として生後4ヶ月以内の全家庭を訪問し子育て支援情報の提供を行った。</li> </ul>	B	・前年度と同様に実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て関連情報の情報収集と提供を図る。</li> <li>「子育て支援ガイド」を作成し、保育所等を通して子育て中の世帯へ配布し、子育て支援制度情報を周知する。</li> <li>青梅市子育てアプリ「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」での子育て関連情報の提供を行う。</li> <li>「こんにちは赤ちゃん事業」として生後4ヶ月以内の全家庭を訪問し子育て支援情報の提供を図る。</li> </ul>	子ども家庭支援課
施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
介護に関する支援	74	介護保険制度の周知	介護保険制度について、広報紙やリーフレット等で周知します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小冊子「みんなで支える老後の安心 介護保険」を配布</li> <li>広報おうめ特集頁等による制度の周知をした。</li> <li>「おうめ健康まつり」等における介護制度の啓発をした。</li> </ul>	B	広報おうめに特集頁を設け、令和元年10月の消費税率引き上げに伴う保険料軽減等、介護保険制度の変更点について周知を行うなど、制度改正が頻繁に行われる介護保険制度について、時機を捉えた周知に努めた。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>小冊子「みんなで支える老後の安心 介護保険」の配布</li> <li>広報おうめによる制度周知</li> <li>「産業観光まつり」等のイベントにおける介護制度の啓発</li> <li>介護保険制度等講演会への講師の派遣</li> </ul>	介護保険課
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	75	介護保険制度の活用促進	介護保険制度を適切に活用することで介護者の負担を軽減します。			
	令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護等認定者数 5,988人（令和2年3月末）</li> </ul>	B	前年度同様に実施した。	継続	・要介護等認定	介護保険課	
取組番号	取組項目	取組の方向				
76	介護に関する相談	介護サービスにかかる相談を行います。				
	令和元年度事業実績 (対前年進ちょく度)	対前年進ちょく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターにおける総合相談の実施</li> <li>青梅市介護サービス相談員（6人体制）による施設、事業所および居宅派遣事業の実施した。55施設、事業所</li> <li>家族介護教室を実施</li> <li>「こころのしおり」等を改訂し、障害福祉サービスについて周知を図り、相談を実施した。</li> </ul>	B	前年度同様に実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターにおける総合相談の実施</li> <li>青梅市介護サービス相談員（3人体制）による施設、事業所および居宅派遣事業の実施 20施設、事業所および居宅</li> <li>家族介護教室の実施</li> </ul>	高齢者支援課	
		B	「こころのしおり」改訂版を作成し、最新の障害福祉サービスの周知を図り、相談も実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>「障がい者のしおり」等を改訂し、障害福祉サービスについて周知を図り、相談の実施する。</li> </ul>	障がい者福祉課

懇談会評価	○	子育て・介護への支援の取組については概ね実施できていると思われる。乳幼児支援の体制整備は良くなってきているが、小中学生・高校生の居場所が少ないと感じる。今後、小中学生・高校生の居場所作りを検討されたい。
-------	---	---

目標Ⅳ 総合的な計画の推進  
課題1 推進体制の強化・充実（重点課題）

施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
市民参画による計画の推進	77	市民との連携	市民、各種団体、事業者等と連携し、本計画による施策を推進します。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・男女平等推進計画懇談会を開催し、施策の推進を図った。	B	懇談会において、計画事業への評価を実施するとともに、計画の進行管理に努めた。	継続	・男女平等推進計画懇談会を開催し、施策の推進を図る。
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	78	進ちよく状況報告書の作成	毎年、前年度事業の進ちよく状況報告書を作成し、青梅市男女平等推進計画懇談会の意見等を踏まえ、各事業の進ちよく内容を検証し、施策の充実を図ります。			
令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)		対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
・男女平等推進計画進ちよく状況報告書（平成30年度状況実績）の報告をした。		B	前年度の各事業について、内容の検証や懇談会における評価により適切な進ちよく管理を実施し、総評を報告した。	継続	・男女平等推進計画進ちよく状況報告書（令和元年度状況実績）の作成	市民活動推進課
施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
庁内の男女平等参画推進体制の充実	79	庁内推進体制の整備	男女平等参画に関連する部署の連携を図り、内部組織を整備していきます。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)	対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		・男女平等推進計画検討委員会を開催した。	B	検討委員会において、各事業の進ちよく状況について協議するとともに情報共有を図った。	継続	・男女平等推進計画検討委員会の開催
	取組番号	取組項目	取組の方向			
	80	市職員に対する男女平等参画の啓発	職場内の固定的な性別役割分業意識の解消等のため、意識啓発を行います。			
令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)		対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課	
・青梅市男女平等推進計画進ちよく状況報告書を配布した。 ・男女平等情報紙を配布 ・市職員を対象とした講座を企画した。 ・女性職員の係長職以上の職への登用促進のため、幅広い職務配置に配慮するとともに昇任試験の受験促進を図った。 ・市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に職員を派遣した。		B B B	男女平等参画に対する意識啓発に努めた。 新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。 女性の主任職以下の職員を対象に、東京都派遣職員の女性講師との意見交換会を実施し、今後のキャリアに対する不安や疑問等の解消と今後のライフプラン形成の参考とした。 市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に職員を派遣し、男女共同参画をめぐる社会および自治体の動向等について理解を深めた。	継続 継続 継続	・青梅市男女平等推進計画進ちよく状況報告書の配布 ・男女平等情報紙の配布 ・市職員を対象とした講座の開催 ・女性職員の係長職以上の職への登用促進のため、幅広い職務配置に配慮するとともに昇任試験の受験促進を図る。 ・市町村職員研修所の男女共同参画社会形成研修に職員を派遣	市民活動推進課 市民活動推進課 職員課 職員課

庁内の男女平等参画推進体制の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク・ライフ・バランスの啓発として作成している「子育てガイドブック」および「休暇の手引き」について、各種制度改正に併せ、すみやかに内容を改訂し、全職員に対し、ポータル上で常時周知する。また、出産を迎える職員または出産を迎える配偶者がいる職員および全部課長に対して、「子育てガイドブック」の冊子を配布し、母性保護、育児休業、休暇などの制度について周知した。</li> <li>ハラスメントに関する研修会の実施した。</li> </ul>	B	<p>「休暇の手引き」については、制度改正が無かったため改訂は無し。 ポータル上での周知は引き続き実施した。 また、子育ての関係では、ここ数年の制度周知の効果か、過去最高となる6人の男性職員が育児休業を取得するなど、取り組みの成果が表れた。</p> <p>管理職向けとそれ以外の職員向けに分けて、ハラスメント防止研修を実施した。</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき策定していた特定事業主行動計画について、「次世代育成支援対策推進法」にもとづく同計画と一本化し、さらなる女性職員の活躍推進、ワークライフバランスの実現に向け、取り組んでゆく。 また、「育児を楽しもう！」と題したリーフレットを作成し、仕事と子育ての両立などや子育てのヒントとなるような情報を提供してゆく。</li> <li>ハラスメントに関する研修会の実施</li> </ul>	職員課
	施策	取組番号	取組項目	取組の方向			
男女平等参画に関する情報収集	81	国・都・他市町村との連携		他市町村との連携を深め、情報交換を行います。また、国および都に対して、男女平等参画推進に向けた働きかけをします。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)		対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>担当課長会・職員連絡会等を通じ他市町村との情報交換を行い、連携を図った。</li> <li>東京都市長会を通じ、男女共同参画推進のための総合的な取組み強化を要望</li> </ul>	B	前年度同様に実施した。	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当課長会・職員連絡会等を通じ他市町村との情報交換を行い、連携を図る。</li> <li>東京都市長会を通じ、男女共同参画推進のための総合的な取組み強化を要望する。</li> </ul>	関係各課
	取組番号	取組項目		取組の方向			
	82	関係図書・資料の収集		男女平等参画関連の資料や情報を収集し、施策の充実や情報提供を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)		対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等や女性問題に関する図書・資料の充実を図った。</li> <li>男女平等参画に関する資料・情報の収集に努めた。</li> </ul>	B	<p>前年と同様に男女平等や女性問題に関する図書・資料の充実を図った。</p> <p>前年同様に実施した。</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等や女性問題に関する図書・資料の充実を図る。</li> <li>男女平等参画に関する資料・情報の収集</li> </ul>	<p>社会教育課</p> <p>関係各課</p>
	取組番号	取組項目		取組の方向			
	83	男女平等参画に関する市民の意識・実態調査		男女平等参画の推進のため、基礎資料となる意識調査等を行います。			
		令和元年度事業実績 (対前年進ちよく度)		対前年進ちよく度評価理由	今後の方向	令和2年度事業予定	所管課
<ul style="list-style-type: none"> <li>各講座や市民のくらし展においてアンケートを実施した。</li> </ul>		B	アンケートを実施し、市民感覚や市民ニーズの把握に努めた。	継続	各講座および市民のくらし展においてアンケートの実施	市民活動推進課	

懇談会評価	○	推進体制の強化・充実の取組については概ね実施できていると思われる。引き続き、市の男性職員の育休取得が進むよう努められたい。
-------	---	---

## 第3章

### 政策決定過程への女性の参画状況

---

## 政策決定過程への女性の参画状況

### 1 議会

(令和2年4月1日現在)

名 称	総議員数	女性議員数	女性議員の割合
市 議 会	24	5	20.8%

### 2 行政委員会（地方自治法第180条の5に定めるもの）

(令和2年4月1日現在)

名 称	総委員数	女性委員数	女性委員の割合
1 教 育 委 員 会	5	2	40.0%
2 選 挙 管 理 委 員 会	4	0	0.0%
3 監 査 委 員	2	0	0.0%
4 農 業 委 員 会	19	0	0.0%
5 固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会	6	1	16.7%
合 計	36	3	8.3%

### 3 付属機関（法律・条例で設置しているもの）

(令和2年4月1日現在)

名 称	総委員数	女性委員数	女性委員の割合
1 財 産 評 価 委 員 会	6	2	33.3%
2 情 報 公 開 ・ 個 人 情 報 保 護 運 営 審 議 会	8	0	0.0%
3 情 報 公 開 ・ 個 人 情 報 保 護 審 査 会	4	0	0.0%
4 行 政 不 服 審 査 会	4	0	0.0%
5 特 別 職 報 酬 等 審 議 会	10	2	20.0%
6 防 災 会 議	33	3	9.1%
7 国 民 保 護 協 議 会	28	2	7.1%
8 安 全 ・ 安 心 ま ち づ くり 推 進 協 議 会	10	3	30.0%
9 交 通 安 全 対 策 審 議 会	10	2	20.0%
10 国 民 健 康 保 険 運 営 協 議 会	14	2	14.3%
11 ス ポ ー ツ 振 興 審 議 会	9	3	33.3%
12 環 境 審 議 会	10	2	20.0%
13 廃 棄 物 減 量 等 推 進 審 議 会	10	1	10.0%
14 民 生 委 員 推 薦 会	7	2	28.6%
15 福 祉 セ ン タ ー 運 営 審 議 会	8	3	37.5%
16 介 護 保 険 運 営 委 員 会	13	3	23.1%
17 介 護 認 定 審 査 会	30	10	33.3%
18 障 害 支 援 区 分 認 定 審 査 会	10	5	50.0%
19 予 防 接 種 健 康 被 害 調 査 委 員 会	6	2	33.3%
20 子 ど も ・ 子 育 て 会 議	12	4	33.3%
21 青 少 年 問 題 協 議 会	24	5	20.8%

	名 称	総委員数	女性委員数	女性委員の割合
22	都 市 計 画 審 議 会	19	4	21.1%
23	景 観 審 議 会	10	3	30.0%
24	商 業 振 興 対 策 審 議 会	8	3	37.5%
25	工 業 振 興 対 策 審 議 会	8	1	12.5%
26	農 業 振 興 対 策 審 議 会	10	2	20.0%
27	市 立 総 合 病 院 運 営 委 員 会	10	3	30.0%
28	市 立 学 校 給 食 セ ン タ ー 運 営 審 議 会	10	1	10.0%
29	社 会 教 育 委 員	10	3	30.0%
30	文 化 財 保 護 審 議 会	10	0	0.0%
31	美 術 館 運 営 委 員 会	7	4	57.1%
32	図 書 館 運 営 協 議 会	8	3	37.5%
33	い じ め 問 題 対 策 連 絡 協 議 会	12	1	8.3%
34	教 育 委 員 会 い じ め 問 題 対 策 委 員 会	10	3	30.0%
	合 計	398	87	21.9%

4 その他審議会等（要綱などにより設置しているもの）

（令和2年4月1日現在）

	名 称	総委員数	女性委員数	女性委員の割合
1	男 女 平 等 推 進 計 画 懇 談 会	4	2	50.0%
2	男 女 平 等 情 報 紙 編 集 委 員 会	5	3	60.0%
3	ま ち ・ ひ と ・ し ご と 創 生 総 合 戦 略 推 進 懇 談 会	5	1	20.0%
4	行 財 政 改 革 推 進 委 員 会	10	2	20.0%
5	協 働 事 業 市 民 推 進 委 員 会	10	5	50.0%
6	長 淵 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	2	20.0%
7	大 門 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	4	40.0%
8	梅 郷 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	3	30.0%
9	沢 井 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	4	40.0%
10	小 曾 木 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	3	30.0%
11	成 木 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	5	50.0%
12	東 青 梅 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	5	50.0%
13	新 町 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	4	40.0%
14	河 辺 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	3	30.0%
15	今 井 市 民 セ ン タ ー 運 営 協 議 会	10	3	30.0%
16	採 石 等 公 害 防 止 対 策 連 絡 協 議 会	12	0	0.0%
17	生 物 多 様 性 保 全 協 議 会	11	4	36.4%
18	し 尿 処 理 施 設 管 理 運 営 懇 談 会	6	0	0.0%
19	青 梅 の 森 運 営 委 員 会	8	2	25.0%
20	青 梅 市 下 水 道 事 業 運 営 検 討 委 員 会	4	0	0.0%



	名 称	総委員数	女性委員数	女性委員の割合
21	高齢者虐待防止ネットワーク連絡会	12	4	33.3%
22	老人ホーム入所判定委員会	5	2	40.0%
23	障害者地域自立支援協議会	19	10	52.6%
24	健康増進計画推進会議	8	2	25.0%
25	食育推進会議	11	3	27.3%
26	補導連絡会	15	5	33.3%
27	青梅市保育対策検討委員会	12	2	16.7%
28	おうめものづくり支援事業専門家会議	6	0	0.0%
29	森林整備推進協議会	10	1	10.0%
30	担い手育成総合支援協議会	10	0	0.0%
31	農業振興地域整備促進協議会	10	0	0.0%
32	人・農地プラン検討会	10	3	30.0%
33	梅の里再生計画推進委員会	14	2	14.3%
34	学校施設開放運営委員会	10	1	10.0%
35	まちづくり・デザイン専門家会議	4	0	0.0%
36	就学支援委員会	48	13	27.1%
37	特別支援教育推進協議会	25	1	4.0%
38	中学校教科用図書選定委員会	14	2	14.3%
39	学校運営連絡協議会	198	54	27.3%
40	学校給食会	13	1	7.7%
41	生涯学習推進市民会議	15	7	46.7%
42	放課後子ども教室推進事業運営委員会	13	6	46.2%
43	青梅市文化交流センター運営協議会	9	4	44.4%
44	美術館美術作品選定会議	2	0	0.0%
45	青梅市みどりと水の協力会	20	6	30.0%
46	青梅市保育対策検討委員会	12	2	16.7%
	合 計	700	186	26.6%

\* 「2 行政委員会」「3 付属機関」「4 その他審議会等」の合計

総委員数=1,134人、女性委員数=276人、女性委員の割合=24.33%

## 5 職員

(令和2年4月1日現在)

役 職 名	職員総数	女性職員数	女性職員の割合
管理職 (部長・課長)	77	5	6.5%
係長職 (係長)	167	18	10.8%
一般職 (主任・主事)	518	168	32.4%
合 計	762	191	25.1%

※ 医療技術職を除く

令和元（平成31）年度  
青梅市男女平等推進計画進ちよく状況報告書

令和2年10月

発行 青梅市

編集 青梅市市民安全部市民活動推進課

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1

TEL 0428-22-1111

